

PRESS RELEASE

2012年7月31日
株式会社三菱総合研究所

2012年4-6月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より8月13日（月）に公表予定の2012年4-6月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2012年4-6月期	実質GDP	季節調整済前期比	+0.5%	（年率 +2.0%）
	名目GDP	季節調整済前期比	+0.2%	（年率 +0.7%）

2012年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.5%（年率+2.0%）と予想する。復興需要による押し上げ効果などから、内需中心に高めの成長を達成したとみられる。

個人消費は、前期の高い伸びからは鈍化するとみられるが、エコカー補助金による自動車販売の押し上げ効果などから、高水準を維持した模様。住宅投資は、被災地での着工増などから2四半期ぶりの増加となろう。設備投資は、回復基調をたどっているものの、海外情勢の先行き不透明感の強まりから伸びは小幅にとどまろう。公的固定資本形成は、東北地方の復興需要が本格化しつつあり、前期に続き高めの伸びを見込む。

輸出は、欧州向けに加え米国・アジア向けにも減速感がみられることから、伸び鈍化が見込まれる。一方、輸入も燃料輸入の増勢鈍化から伸び率の低下が予想され、ネットの外需では若干のプラス寄与となろう。

表 2012年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2011年		2012年	
		7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP		1.9	0.0	1.2	0.5
	季調済前期比年率	(7.8)	(0.1)	(4.7)	(2.0)
民間最終消費		1.1	0.7	1.2	0.1
民間住宅投資		4.8	0.1	▲1.5	1.3
民間企業設備投資		0.1	5.2	▲2.1	0.3
民間在庫	寄与度	0.3	▲0.4	0.3	0.1
政府最終消費		0.2	0.4	0.7	0.4
公的固定資本形成		▲1.0	▲0.8	3.8	2.5
財・サービス輸出		8.7	▲3.7	3.0	1.3
財・サービス輸入		3.5	0.9	1.9	0.9
内需	寄与度	1.1	0.7	1.0	0.4
民間	寄与度	1.1	0.7	0.7	0.2
公需	寄与度	0.0	0.0	0.3	0.2
外需	寄与度	0.8	▲0.7	0.2	0.1
名目GDP		1.6	▲0.3	1.2	0.2
	季調済前期比年率	(6.7)	(▲1.3)	(4.9)	(0.7)
GDPデフレーター	前年同期比	▲2.2	▲1.9	▲1.3	▲0.9
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.7	▲0.6	▲0.4	▲0.5

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2012年1-3月期2次QEに基づく。シャド一部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp
広報・IR部 笠田・武居 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。